



神戸市北区

医療法人社団 清孝会 こがめ歯科

小亀 辰夫 院長

歯科・小児歯科・矯正歯科



立ち止まり得た新たな目標  
より強固なチームプレイで  
元気と笑顔を明るくサポート!

**親身に向き合うことこそ  
医療人としての在るべき姿**

平成6年の開院以来、常に全力で走り続けてきた小亀院長。何事にも諦めずに取り組んできた先生だが、2010年の春、腰の激痛で病院に運び込まれ、半年以上もの間その疾走を遮られることとなる。「13年前、開院した際の頃に一度経験したヘルニアが、ちょっとしたきっかけで再発してしまっただけです。前回は1ヶ月ほどの入院でしたが、今回は入院40日間、復帰までに4ヶ月かかりました。最初は全く動けず、ようやく座れるようになったのは10日後。座れること、健康であることのありがたさ、そして先生や看護師さんなど関わる全ての人たちへの感謝の気持ちを痛感しました」。ドクターの見立ては、手術はせずリハビリで回復させること。退院し尼崎までリハビリに通ううちに、先生の健康への想いはさらに大きなものへと育っていく。「その尼崎の医院の先生とリハビリ士さんが本当に親身に私と向き合ってくれました。大げさではなく、私はそこで命を助けてもらったと思っています。特に実感したのが、回復してくれて嬉しい」という言葉。私も診療の際に、「よかったね」ということを感じることができ、すごく感動しました。そして私が復帰したら、自分たちに出来ること皆で考えていきたい、そう思うようになりました」。